

12月定例会に
提出した

意見書

(要旨)

(1)と(2)は全員賛成で、(3)と(4)は賛成多数でそれぞれ可決しました。(5)～(11)は否決しました。

(1) 義援金差押禁止法の恒久化を 求める意見書

義援金差押禁止法は、被災者の生活再建を支援するため、義援金の交付を受ける権利を担保に供したり、交付を受けた金銭を差し押さえたりすることなどを禁止した法律である。

同法は、東日本大震災の際、被災者が住宅ローンなどの債務や借金を抱えていても、被災者の手元に義援金が残るようにするため、議員立法で成立させたものであり、2016年の熊本地震や2018年の大阪北部地震、西日本豪雨災害の際にも、国会会期中に速やかに成立させている。

しかし、近年のわが国では自然災害が頻発しており、時限立法ではなく、常に対応可能な恒久法として制定することが求められている。

よって、国会が閉会中にも対応が可能となるよう恒久法としての立法化を早期に進めることを国に求める。

(2) 無戸籍問題の解消を求める 意見書

無戸籍問題とは、何らかの事情で出生届が出されず、戸籍がないまま暮らざるを得ない子どもや成人である無戸籍

者がいる問題である。無戸籍者は、同じわが国の国民であるにもかかわらず、住民登録や選挙権の行使、運転免許の取得などができないだけでなく、進学、就職、結婚などの場面でも不利益を被っており、基本的な人権にかかわる深刻な問題となっている。

そこで、一刻も早い無戸籍問題の解消に努めることとし、無戸籍者が生活上の不利益を被ることのないよう、強制認知調停の申し立てについては、その受け付け等の際に、家庭裁判所の窓口で不適切な指導がなされることのないよう是正するとともに、これに関する法務省や裁判所のホームページの記載を改め、その申立書の書式の改定等を進めることなど3項目の事項に緊急に取り組むことを強く政府に求める。

(3) 認知症施策の推進を求める
意見書

わが国では年々認知症の人が増え続けており、2015年の推計約525万人から、2025年には推計700万人を突破すると見込まれている。認知症施策の推進に当たっては、認知症と診断されても尊厳をもって生きることができ

る。会の実現を目指し、当事者の意思を大切に、家族等も寄り添っていく姿勢で臨むことが重要であるとともに、若年性認知症など、これまで十分に取り組みられてこなかった課題にも踏み込んでいく必要がある。

認知症施策に関する課題は、医療・介護だけでなく、地域づくりから生活支援、教育に至るまで多岐にわたっていることから、国や自治体をはじめ企業や地域が力を合わせ、認知症の人やその家族を支える社会を構築するため、認知症施策を総合的かつ計画的に推進する基本法を制定することなど4項目の事項に取り組むことを強く国に求める。

(4) 学校施設等への補助金基準の
引き上げ及び国の財政支援の
強化を求める意見書

今般、政府が行った全ての学校施設等へのエアコン設置の要請は、子どもたちの夏場の猛暑対策として、行政のスピード感を喚起しながら、一気に課題解消に向かったことから、一定理解できる。

しかし、本市のエアコン設置事業費28億円に対する国庫補助金は4億円余りで、本市の持ち出しが19億円、残りの60%が後

年度の交付税措置であり、国庫負担は少額に甘んじている。背景には、補助金額の算定における基準単価と実際の工事価格との大きな差があり、この種の文教予算では、しばしばこうした問題が発生する。

よって、今般のような地方の財政負担が大きくなる現状に鑑み、補助金の基準単価を引き上げるとともに、財政支援を強化することを政府に求める。

(5) ハラスメントを禁止する包括
的な法整備とジェンダー平等
を実現する法の改正を求める
意見書

(6) 米軍機事故の再発防止に向け
た実効ある措置を求める意見
書

(7) 障害者雇用の促進を求める意
見書

(8) 幼児教育・保育無償化に食料
費も対象とすることを求める
意見書

(9) 幼児教育・保育の無償化に係
る地方の財政負担をなくする
ことを求める意見書

(10) SOCIETY5・0時代に
向けた学校教育環境の整備を
求める意見書

(11) 国民健康保険の保険料を協会
けんぽ並みに引き下げを求め
る意見書

本会議、委員会の日程をお知らせしています
市役所本庁舎の掲示板、高知市ホームページで本会議、
委員会の開催日程をお知らせしています。

《高知市議会事務局の連絡先》

【電 話】 823-9400 (直通)
【F A X】 823-9350
【メールアドレス】 kc-260100@city.kochi.lg.jp
議会に対するご意見・ご要望をお寄せください。

編集後記

11月の臨時会では小中学校へのエアコン設置、12月定例会では学校等のブロック塀改修が決定。昨年の漢字は「災」でしたが、自然災害への備えが大きく前進します。一方、オーテピア西敷地については、12月定例会への議案提出が先延ばしされ、個人質問でも20人中15人の議員が取り上げました。50年先の市民に「福」となるよう、私たち議会の判断が問われます。
(議会広報委員)